11. 新規受検申込者の記入例

(1) A票等の作成方法(再受検申込者記入例はP20～21)

新規受検申込者は [　　] 内を必ず記入してください。

1. 記入は受検申込者本人が行ってください。
2. 記入は黒のボールペンを使用し、字を崩さずにていねいに書いてください。消せるボールペン、鉛筆などは、記載内容が消滅することがありますので、絶対に使用しないでください。
3. [　] 欄は記入しないでください。
4. A 票の訂正は、修正液等できれいに修正し、訂正事項を記入してください。
5. 申請書は切り離さないでください。
6. 申請書の内容については、改めて確認させていただく場合があります。

A 票等記入例

振替払込受付証明書(お客さま用)貼付欄

振替払込受付証明書(お客さま用)
(ご依頼人→郵便局・ゆうちょ銀行→ご依頼人)

口座記号番号	00150-4142812
加入者名	一般財団法人 建設業振興基金
払込金額	千 百 十 万 千 百 十 円 1 3 2 0 0
ご依頼人住所氏名	※(郵便番号 000-0000) 東京都○○区○○町1-2-34 ○○ハイツ205 電気 太郎
備考	受検申請書

(承認番号 東証第2008号)

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

本籍コード

01 北海道	18 福井県	35 山口県
02 青森県	19 山梨県	36 徳島県
03 岩手県	20 長野県	37 香川県
04 宮城県	21 岐阜県	38 愛媛県
05 秋田県	22 静岡県	39 高知県
06 山形県	23 愛知県	40 福岡県
07 福島県	24 三重県	41 佐賀県
08 茨城県	25 滋賀県	42 長崎県
09 栃木県	26 京都府	43 熊本県
10 群馬県	27 大阪府	44 大分県
11 埼玉県	28 兵庫県	45 宮崎県
12 千葉県	29 奈良県	46 鹿児島県
13 東京都	30 和歌山県	47 沖縄県
14 神奈川県	31 鳥取県	48 韓国
15 新潟県	32 島根県	49 朝鮮
16 富山県	33 岡山県	50 中国
17 石川県	34 広島県	52 その他

切り取らないでください

A 票 第一次・第二次検定(同日受検)申込専用 令和5年度2級電気工事施工管理技術検定受検申請書

標記の検定について、関係書類を添付して受検申請を行います。 令和 5 年 7 月 11 日

ご自分が新規受検なのか、再受検なのかについて、受検の手引や上記※印の項目をご確認のうえ正しくお申込みください。

新規受検 ① 再受検 ②　平成15年度以降に2級電気工事施工管理技術検定の同じ区分を受検し、今回再受検の方は下欄を記入(受検年度・受検番号がわからない場合は下記「不明」欄を○で囲ってください)　過去受検年度 H・R 年度　過去受検番号　不明

過去の受検票等を裏面の貼付欄に必ず貼付してください。

履歴票

氏名	フリガナ	テ゛ンキ タロウ
	氏名	氏 電 気　名 太 郎
	フリガナ	
	(外国籍の方)通称名	氏　名
受検希望地		① 札幌 ② 青森 ③ 仙台 ④ 東京 ⑤ 新潟 ⑥ 金沢 ⑦ 名古屋 ⑧ 大阪 ⑨ 広島 ⑩ 高松 ⑪ 福岡 ⑫ 鹿児島 ⑬ 沖縄
性別		男 ① 女 ②
生年月日		昭和 平成 1 1 年 1 2 月 0 4 日
本籍		東京 都・道・府・県　本籍コード 1 3
住民票コード		9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9
1 現在の居住地 フリガナ		〒 0 0 0 − 0 0 0 0　トウキョウト マルマルク マルマルチョウ 1-2-34 マルマルハイツ 205
現住所		東京 都・道・府・県 ○○区○○町1−2−34 ○○ハイツ205
		TEL[自宅] 03(0000)0000　TEL[携帯] 090(0000)0000
2 現在の勤務先 フリガナ		マルマルデンセツコウギョウカブシキガイシャ　フリガナ ホンテン コウジブ セツビカ
勤務先名称		○○電設工業株式会社　部署名 本店 工事部 設備課
勤務先所在地		〒 0 0 0 − 0 0 0 0　東京 都・道・府・県 ○○区○○町5−6 第1ビル3F
		TEL 03(0000)0001　FAX 03(0000)0002
勤務先種別コード		01. 国の機関 02. 地方公共団体 03. 公団・公社・事業団等 04. 電力会社 05. 鉄道会社 06. 特定建設業(電気) 07. 一般建設業(電気) 08. 特定建設業(その他) 09. 一般建設業(その他) 10. 建設コンサルタント・設計事務所 11. その他( ) 左記の勤務先種別コードを記入してください。 0 6
受検票等送付先	1 現住所 2 勤務先 3 その他	1 ←受検票等送付先の番号を左記から選んで必ず記入してください。(3 その他を選んだ場合は、下欄に送付先を記入してください。) 左欄1・2以外の住所に受検票等を送付希望の方は、この欄に送付先を記入。現場の場合は事務所名等も記入。(日本国内に限る)

審査担当者記入欄(申込者は記入しないでください)

最終	S 1 / H 2 / R 3	年	月	在学年数
	学校コード		学科コード	
前	S 1 / H 2 / R 3	年	月	
	学校コード		学科コード	

学歴		学校名	学部・学科名	在学期間(在学年数)		
最終学歴及びその1つ前の学歴	最終	基金高等学校	電気科	S H R 27年 4月入学 ～ S H R 30年 3月	在学年数 3年 ヶ月	卒業 / 修了
	一つ前			S H R 年 月入学 ～ S H R 年 月	在学年数 年 ヶ月	卒業 / 修了

顔写真は合格証明書に印刷されます。

資格	受検資格に関係する資格		免状交付年月日	免状番号
	電気工事士	第 2 種	S H R 2年 2月 18日	XX-XXXX
	電気主任技術者	第 種	S H R 年 月 日	

写真　令和5年7月11日撮影 (満23才)

フチなしのパスポート用証明写真を貼付してください。サイズ(縦4.5㎝×横3.5㎝)が合わない写真、背景のある写真、不鮮明な写真、顔が小さい写真などはすべて受付できません。

整理No.

振替払込受付証明書について

住所・氏名を記入の上、次のとおりお支払いください。
【郵便局の窓口で支払うとき】
同封の振替払込用紙で必ず個人別に払込み、振替払込受付証明書を貼付欄に全面のりづけしてください。必ず郵便局の日附印が押印されているか確認してください。
【郵便局のATMから支払うとき】
同封の振替払込用紙で必ず個人別に払込み、ご利用明細票の原本を貼付欄に全面のりづけしてください。(控えとして、必ずコピーをとり保管してください。)
※コピーのご提出は認められません。

初めて第一次・第二次検定を受検する方は、1を○で囲んでください。

受検希望地は、13都市の中から希望する番号を○で囲んでください。

氏名・生年月日は、住民票(戸籍)に記載されているとおりに記入してください。

本籍を記入のうえ、上欄に記載されている本籍コードの記入もしてください。

住民票コード欄は、住民票を添付した方は記入の必要はありません。(住民票コードは11桁の数字です。)
ただし、外国籍の方は国籍名の記載がある住民票を必ず提出してください。
マイナンバー(12桁)は使えません。

現住所は、住民票の記載と異なっていても構いません。郵便番号、アパート名、団地名、棟番号、同居先名まで詳しく正確に記入し、必ず連絡先(携帯番号等)を記入してください。

勤務先はビル名・部署等まで詳しく記入してください。
勤務先TELはご連絡させていただく場合があります。
勤務先種別コードは、現在の勤務先の業務内容で主に該当するものを選んで記入してください。

受検票等送付先として番号を記入した送付先へ、受検票・合否通知等を郵送しますので、郵便物を確実に受け取れる場所を指定してください。
送付先を短期賃貸マンション等にされる場合は、必ず郵便局に転送届(転居届)の手続きをしてください。

最終学歴とその前の学歴は、高校以上の学歴だけ記入してください。
受検資格に係る最終学歴の卒業証明書を添付してください。

第一、二種電気工事士、第一、二、三種電気主任技術者の免状取得者は記入してください。必要な提出書類については、P2～P3をご参照ください。

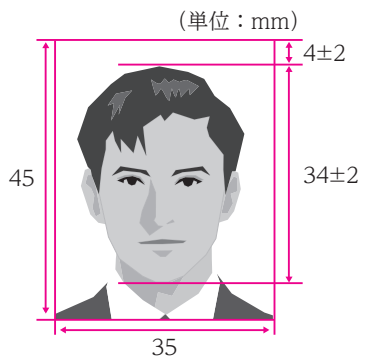
証明写真について

- サイズは縦4.5cm×横3.5cmのパスポート用証明写真を貼付してください(サイズ厳守)。
- 提出する写真は、必ず写真店等でカラーの証明写真を撮影し提出してください。(自前のデジタルカメラ等で撮影しプリンタで印刷したスナップ写真は一切不可です。)
- 受検申込者本人のみを、最近6ヶ月以内に撮影したもの。

※年齢は、令和5年7月末日現在で記入。

- 受検票及び技術検定合格証明書に印刷されます。

【顔写真のサイズ】
(単位:mm)



写真はスキャニングするため、写真の表面にセロテープ等を貼り付けないでください。指紋やゴミも付かないよう注意してください。

(2) B 票の作成方法

B 票は、本技術検定の受検申込で一番大切な書類です。受検資格に必要な実務経験年数及び実務経験内容の記載及び証明がなければ受検できません。
ただし、第一種電気工事士免状のコピーを提出できる方は、記入不要です。

1. 記入は受検申込者本人が行ってください。
2. 記入は黒のボールペンを使用し、字を崩さずていねいに書いてください。消せるボールペン、鉛筆などは、記載内容が消滅することがありますので、絶対に使用しないでください。
3. **実務経験年数はまず令和５年７月31日現在で記入し、不足する場合にのみ８月１日以降の欄を記入してください。**
4. 実務経験年数は、直近の経験から受検資格を満たす年数で記載し、証明してください。
5. **B** 票の訂正は、訂正箇所を二重線で抹消し、証明者の訂正印を押印してください。
6. 申込完了後は、実務経験証明書と経験内容の訂正はできません。
7. 受検申込者が申請内容を偽り、不正な方法により受検した場合、または事実と異なる内容の実務経験証明書を提出した場合等は、国土交通省により受検禁止又は合格取消しの処分が科されます。
8. 申請の内容については、改めて確認させていただく場合があります。
9. 申請書は切り離さないでください。

B 票記入例

B 票　　**第一次･第二次検定（同日受検）申込専用**

◯　**令和5年度2級技術検定実務経験証明書**

受検申請者の下記の実務経験内容は、裏面チェックリストにより適正に記載されていることを確認し、下記のとおりであることを証明します。

国土交通大臣指定試験機関
一般財団法人建設業振興基金 理事長 殿

証明日：令和　５ 年　７ 月 11 日

証明者（①会社又は事業所名、②所在地、③証明者役職名、④証明者氏名の記載が必要です。）
- 会社又は事業所名　◯◯電設工業株式会社
- 所在地　東京都◯◯区◯◯町５－６第１ビル３Ｆ
- 役職名　代表取締役
- 氏名　神谷　三郎

受検申請者	氏名	電気　太郎	生年月日	S (H) 11年12月　4日	本籍	東　京 都道府県	証明者との関係	社長と社員
現住所	東京都◯◯区◯◯町１－２－３４ ◯◯ハイツ２０５							

電気工事施工管理に関する実務経験

勤務先名称･所在地（※工事名ではありません）	所属部署（部課名）	在職期間中の受検種目に関する実務経験の内容 主な工事種別･工事内容	主な従事した立場	在職期間中の受検種目に関する実務経験年数（年 月～年 月）（年 ヶ月）
勤務先名称 (株)□□電工社	工事部 工事課	工事種別 照明設備工事	施工管理	SHR 2年 4月 ～ SHR 3年 3月 ① 1年 0ヶ月
勤務先所在地 東京都□□区△△９－８７		工事内容 街路灯工事		
勤務先名称 ◯◯電設工業(株)	工事部 設備課	工事種別 ⓐ 構内電気設備工事	ⓒ 施工管理	SHR 3年 4月 ～ SHR 5年 7月 ② 2年 4ヶ月
勤務先所在地 東京都◯◯区◯◯町５－６第１ビル３Ｆ		工事内容 ⓑ 動力電源工事		
勤務先名称		工事種別		SHR 年 月 ～ SHR 年 月 ③ 年 ヶ月
		工事内容		
		工事種別		SHR 年 月 ～ SHR 年 月 ④ 年 ヶ月
		工事内容		

令和5年7月末までの電気工事に関する実務経験年数（①～④）の合計年数を記入 → 合計 ⑤ 3年 4ヶ月

予定の実務

本年8月1日～11月11日の間の予定の実務経験記入欄（7月末までで受検資格を満たす場合は記入不要）

勤務先名称	部署	工事種別		従事した立場	R5年 月 ～ R5年 月	⑥ ヶ月
勤務先所在地		工事内容				

注意事項　この証明事項に事実と相違がある場合は、合格及び受検実績が取り消される場合があります。
事実と異なる実務経験証明を行い、不正合格者を技術者としている場合は建設業法に基づき処分・告発の対象となり得ます。

実務経験は勤務先ごとに記入してください。
この用紙で書ききれない方は、本用紙を記入前にコピーし、追加記入してください。その場合、追加記入した用紙にも証明者欄（会社又は事業所名、所在地、役職名、氏名）の記入が必要です。

現在勤務している会社の事業主による証明が必要です。
過去の会社の経験も含めて、現在の勤務先の証明で結構です。
受検申込者自身が代表者の場合も必ず **B** 票を作成した上で、自分で証明し、証明者との関係欄には『本人』と記入してください。（この場合、自身が代表者であることの確認資料の添付が必要です。）

電気工事を**施工管理等した期間のみの合計**を記入してください。

ⓐには、電気工事施工管理に関するあなたの経験のうち代表的な工事種別（業種）を記入してください。
ⓑには、ⓐで記入した工事種別のうちあなたの担当した代表的な工事内容を記入してください。
ⓒには、あなたの工事現場での従事した立場を記入してください。（部長など会社での役職名ではありません。）

工事種別、工事内容、従事した立場は、下表を参考に記入してください。

施工管理等した期間（①～④）の合計を記入してください。

【ご注意】
本検定の受検資格として求められている実務経験とは、電気工事の施工現場において技術者によって行われる工程管理・品質管理・安全管理の業務を指しております。
営業的立場から製品の技術的説明等を行った業務は、本検定の受検資格を満たす実務経験ではありません。

注意

工事種別・工事内容・従事した立場は、下表から選択してください。（P6を必ず参照してください。）

ⓒ 従事した立場	
	◯施工管理（請負者の立場での現場管理業務）
	◯設計監理（設計者の立場での工事監理業務）
	◯施工監督（発注者の立場での工事監理業務）

ⓐ工事種別	ⓑ工事内容
発電設備工事	発電設備工事 等
変電設備工事	変電設備工事 等
送配電線工事	架空送電線工事、架線工事、地中送電線工事、電力ケーブル布設・接続工事 等
引込線工事	引込線工事、電力会社の計器交換配線工事 等
構内電気設備工事	受変電設備工事、自家発電設備工事、動力電源工事、建築物電気設備工事、計装工事、LAN 工事、航空灯設備工事、避雷針工事 等
照明設備工事	屋外照明設備工事、街路灯工事、道路照明工事 等
信号設備工事	交通信号工事、交通情報・制御・表示装置工事 等
電車線工事	（鉄道に伴う）変電所工事、発電機工事、き電線工事、電車線工事、鉄道信号・制御装置工事、鉄道用高圧線工事 等
ネオン装置工事	ネオン装置工事 等